

**製品名: RAD23B マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82936**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:100-1:400,FC 1:200-1:400
分子量	43.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RAD23B
別名	P58; HR23B; HHR23B
遺伝子 ID	5887.0
SwissProt ID	P54727
免疫原	大腸菌で発現したヒト RAD23B の精製された組み換え断片。

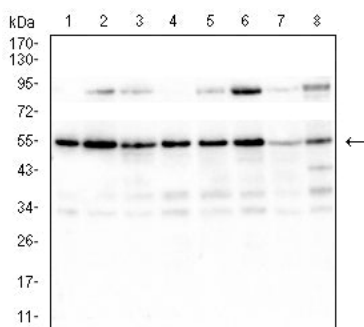
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヌクレオチド除去修復（NER）に関与するタンパク質であるサッカロミセス・セレビシエ（*Saccharomyces cerevisiae*）Rad23 の2つのヒト相同遺伝子のうちの1つです。このタンパク質は、in vitro において、色

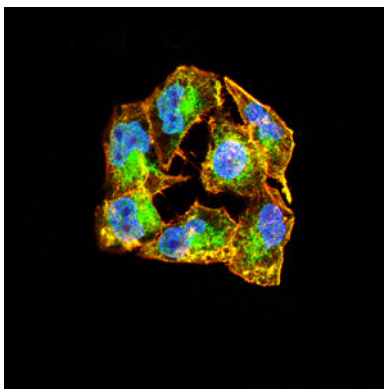
素性乾皮症 C 群 (XP-c) 細胞抽出物の NER 欠損を特異的に補完するタンパク質複合体の構成要素であることがわかりました。また、このタンパク質は 3-メチルアデニン DNA グリコシラーゼ (MPG) と相互作用し、そのヌクレオチド除去活性を亢進させることが示されており、塩基除去修復における DNA 損傷認識に関与していることが示唆されています。このタンパク質は N 末端ユビキチン様ドメインを有し、これが 26S プロテアソームと相互作用することが報告されているため、細胞内でユビキチンを介したタンパク質分解経路に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。

## 研究分野

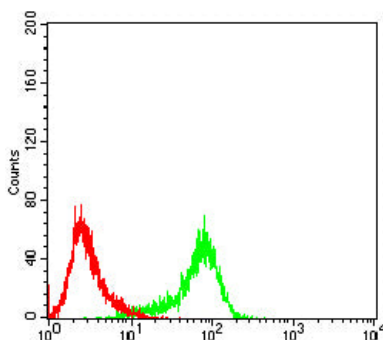
## 画像データ



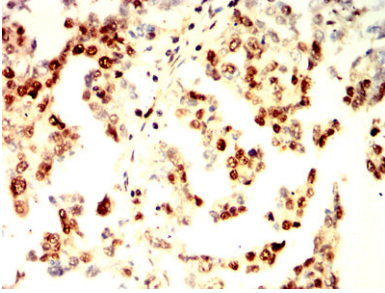
K562 (1)、HeLa (2)、A431 (3)、HL-60 (4)、Jurkat (5)、A549 (6)、HUVEC (7)および NIH/3T3 (8)細胞溶解物に対する RAD23B マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



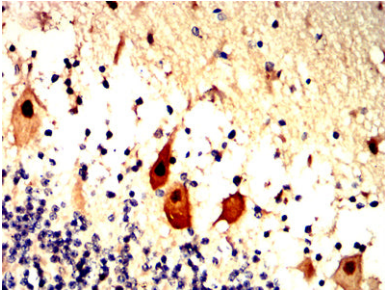
RAD23B マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



RAD23B マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



RAD23B マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



RAD23B マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト小脳組織の免疫組織化学分析。